

# O's NEWS

## 高齢化によって増え続ける頭部外傷 - 慢性硬膜下血腫について -

脳神経外科医長 砂田 拓

慢性硬膜下血腫というご病気をご存知ですか。硬膜と言われる頭蓋骨のすぐ内側にある膜と脳を包んでいるクモ膜との隙間(硬膜下腔)に血の塊がじわじわと溜まるご病気です。通常、頭部外傷をきっかけとすることが多いですが、ゆっくりと血が溜まるため受傷直後は検査をしても分からないことがあります。典型的には高齢者が転倒し頭部を受傷後の約2週間から3ヶ月くらいの間に症状が出て病院を受診されることが多いです。出血と聞くと脳震盪を起こすほどの強い外傷を想像されるかもしれませんが、ごく軽微な頭部外傷やはっきりとした外傷歴がなくとも発症することがあり注意が必要です。また症状の出方も様々で、ほとんど無症状から軽度の頭痛程度の場合もあれば、手足の麻痺や歩行障害が出ることもあります。物覚えが悪くなる、反応が鈍いなどの認知症のような症状で発症することもあり、血腫量が多くなると命に関わることもあります。高齢者の転倒以外では、アルコールを多飲する方、抗血栓薬(血をさらさらにする薬)を飲んでいる方、肝臓病や血液疾患などで出血傾向のある方は注意が必要です。通常は一側性ですが稀に両側性のこともあり、ある程度の量になると脳を圧迫し症状が出るため治療が必要になります。

治療は穿頭術といって、側頭部に3cm程度の皮膚切開をおき直下の頭蓋骨に1.5cm程度の穴をあけ、そこからドレーンという管で血腫を吸い出します。通常局所麻酔で行い、約30分程度で終了し、術直後から症状の改善を認めることも多いです。術後経過に問題がなければ1週間程度で退院も可能ですが、約10%で再発があるとされています。特に高齢者で脳萎縮が強い場合や出血傾向のある場合は再発の可能性が高くなり、再度同じように手術をすることもあります。

当院では2022年の1年間に慢性硬膜下血腫に対して150件程度の手術を行っており、これはおよそ2日に1回程度の頻度になります。高齢化社会や抗血栓薬の普及といった社会的背景によって今後も増加することが予想され注意が必要です。頭部CTやMRIで簡単に診断ができるため、最近頭を打撲された方や気になる症状がある方はお気軽にご相談下さい。

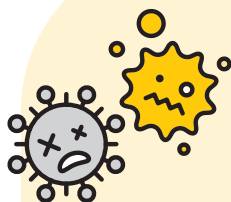


みなさん、こんにちは！

北2階病棟「脊椎・脊髄センター」の紹介をします。

センター長は副院長を担う山本慎司先生です。先生は毎日患者様の顔を見に、声を聴きに病室に行きます。毎日元気と安心を振り撒いています。患者様だけでなくスタッフにも振り撒いています。そんな山本先生を見習うべく看護師、看護補助者は「患者様に寄り添う気持ち」を大切に日々の看護やケアに努めています。

当病棟では現在、脊椎手術を受ける患者様が安心して手術を受けられるように、手術の前に分かりやすい説明を行っています。まずは、手術までの流れをビデオで見て頂き、手術のイメージを持って頂きます。その後、入院から退院までの流れを一つ一つ分かりやすく説明し、患者様の不安が少しでも軽減し、安心して手術を迎える事が出来るように取り組んでいます。病院に来ることは不安でいっぱいだと思いますが、笑顔で山本先生と看護師、看護補助者がお迎えしますので、入院の際はぜひ安心してお越しください。



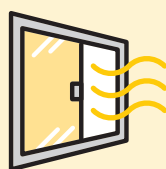
## インフルエンザシーズン到来

感染対策室 副主任看護師 出口 英典

日増しに寒くなり、寒さが肌身にしみる季節となりました。

私からは、これから本格的にシーズン入りするインフルエンザの予防についてお伝えさせていただきます。とは言っても、インフルエンザの予防方法は、新型コロナウイルス感染症とほぼ同じです。手洗い（手指消毒）とマスク着用、人との距離を保つ、湿度を保つことを心がける等です。そして、特にワクチン接種が強く推奨されています。

その理由は、ここ数年のコロナ禍において、インフルエンザが流行せず、多くの方のインフルエンザへの免疫が低下しているからです。今年は、免疫低下が原因とみられる季節外れのインフルエンザ流行もありました。そのため、シーズンに入ると感染が一気に広がる可能性が高いです。感染予防の中でも、特にワクチン接種は効果的です。更に、多くの方がワクチン接種する程、インフルエンザの流行も抑えられます。是非、ワクチン接種を検討されてはいかがでしょうか？



# 二十四節気と七十二候のお話



## 12月 (師走)

一年の締め括りであり、何かと忙しい「師走」。新年を迎える為の準備に大忙しですね。



二十節気  
小  
雪

### 12/2~6 (六十候) 橘始黄 / たちばなはじめてきばむ

永遠に続くしんとされる橘。実や花は家紋や文化勲章のデザインにも。12/3は「カレンダーの日」。明治5年11月9日にグレゴリオ暦を採用する諸外国と足並みをそろえる為に、旧暦(太陰太陽暦)から、新暦(太陽暦)への切り換えを宣言。明治5年12月3日が明治6年1月1日となりました。



二十一節気  
大  
雪

### 12/7~11 (六十一候) 閉塞成冬 / そらさむくふゆとなる

冬の到来、空は灰色に重く北風が吹きます。「伊勢海老へ 主客は膝を正したり 駒人」冬の波が荒れる時期が美味しい伊勢海老、高級食材としてその姿、形と共に、豪華な姿造りのお刺身、鍋などに。



冬  
の街の美しいイルミネーション。三年ぶりに、神戸ルミナリエが来年一月に開催されます。

### 12/12~16 (六十二候) 熊蟄穴 / くまあなにこもる

今年も熊出滅のニュースが多く、人間社会との共存の難しさを問われる年でした。うつむき加減に咲く「クリスマスローズ」。ヨーロッパが原産で、花の少ない12月に花を咲かせるので「クリスマスの頃に咲くバラ」とう意味で名づけられました。純白の「ニゲル」という種類が、その種類にあたります。



### 12/17~21 (六十三候) 鰻魚群 / さけのうおむらがる

生まれた川へ戻り、遡上して産卵する鮭。塩焼き、フライ、そして鮭の卵のイクラなど、日本人の食卓には欠かせません。特に東北や北海道では秋の食材を様々な料理に♪グラタンやちゃんちゃん焼きなどの乳製品とも相性がバツグンです。冬眠前の熊も好物です。



二十二節気  
冬  
至

### 12/22~26 (六十四候) 乃東生 / なつかれくさしようず

緑の少ない野山で、早くも新しい芽をつける夏枯草。古代中国では冬至の直前で陰が極まり、冬至から陽がひとつ戻ってくるという意味の冬至の別名「一陽来復」。悪いことが続いたあとの幸運に向うたとえです。



昼間の時間が一番短かい日「冬至」。柚子湯に入り、心も体もポカポカに♪

### 12/27~31 (六十五候) 麋角解 / さわしかのつのおつる

麋(さわしか)とは、ムースやエルクといった大鹿で日本には分布しません。クリスマスが終わり、お正月を迎える準備、「あれと、これと…」と、大晦日まであと何日とカウントダウンする数日を「数え日」と呼びます。大晦日、除夜の鐘が響きます。来年もどうぞよい一年でありますように。



## さつまいも その2

美味しいさつまいも♪今回はその栄養素のお話。さつまいもに豊富に含まれる食物繊維。一つは水溶性食物繊維=余分な糖質・脂質をキャッチして腸内環境を整える。そしてもう一つの不溶性食物繊維=水分を吸い膨らみ、腸を刺激してお通じをよくする効果があります。さつまいもを切った時に出てくる白い液体=ヤラピン。さつまいも特有の成分で腸の動きを促進する効果が。そしてリンゴの約5倍も含まれるビタミンC、カルシウム、カリウム、ビタミンB群など美容と健康に力強い味方ですね(^ ^)



# 外 来 担 当 医 表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高橋〈顔〉	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	高橋〈血〉	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	河田
2診 【予約制】	午前	吉村	砂田	角田	富士井	担当医〈血〉
	午後	吉村	砂田	角田	矢野	脊椎・脊髄外来 山本
3診 5診	午前	担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	5診 細川
	午後	担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
6診	午前	脳神経内科 小坂田	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 阿部 第1・3週
	午後	脳神経内科 小坂田(FUS) 脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	てんかん 第4週 田村 脳神経内科 第1・3週 森原	脳神経内科 阿部 第1・3週

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30

※毎週金曜日13:00~ 7診 麻酔科 鈴木 (2023.12)  
※第1・3週金曜日9:30~12:30、13:30~16:30 6診 脳神経内科 阿部

## 連携協力医療機関のご紹介

No.6

### そが内科クリニック

院長:曾我 忠司



【認定資格・所属学会】総合内科専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医

【診療科目】内科、消化器内科

【住所】明石市新明町7-25

【電話】078-925-0811

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
15:30~19:00	○	☆	○	/	○	/	/	/

☆13:00~16:00

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日



#### 曾我院長からのメッセージ

大西病院にはいつも紹介症例へ迅速に対応していただき感謝しております。  
当院では安定期の患者様への投薬継続などで協力させていただいております。

No.92

### 西北クリニック

院長:稲見 則仁



【認定資格・所属学会】医学博士、循環器学会、再生医療学会

【診療科目】内科、循環器内科、眼科、消化器内科、腫瘍内科/緩和ケア内科

【住所】神戸市西区押部谷町高和775番地

【電話】078-998-1101

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
内科・循環器・眼科	8:00~12:30 (眼科8:30~)	○	○	○	☆	○	○	/	/
	16:00~19:00	○	/	○	/	/	/	/	/
消化器・腫瘍	14:00~17:00	/	/	○	/	/	/	/	/

☆眼科は休診 眼科の診療開始時間は8:30からです

休診日:火曜・木曜・土曜午後、日曜、祝日



#### 稲見院長からのメッセージ

狭心症や心筋梗塞に対するカテーテル治療のほか、眼科の白内障手術、消化器内科では胃と大腸の内視鏡検査、そして訪問診療に力を入れています。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399



ホームページ

発行・編集責任者:理事長・院長 大西 宏之